



At the heart of the image

写真部応援マガジン

Top Eye

boys & girls photo magazine

No.279

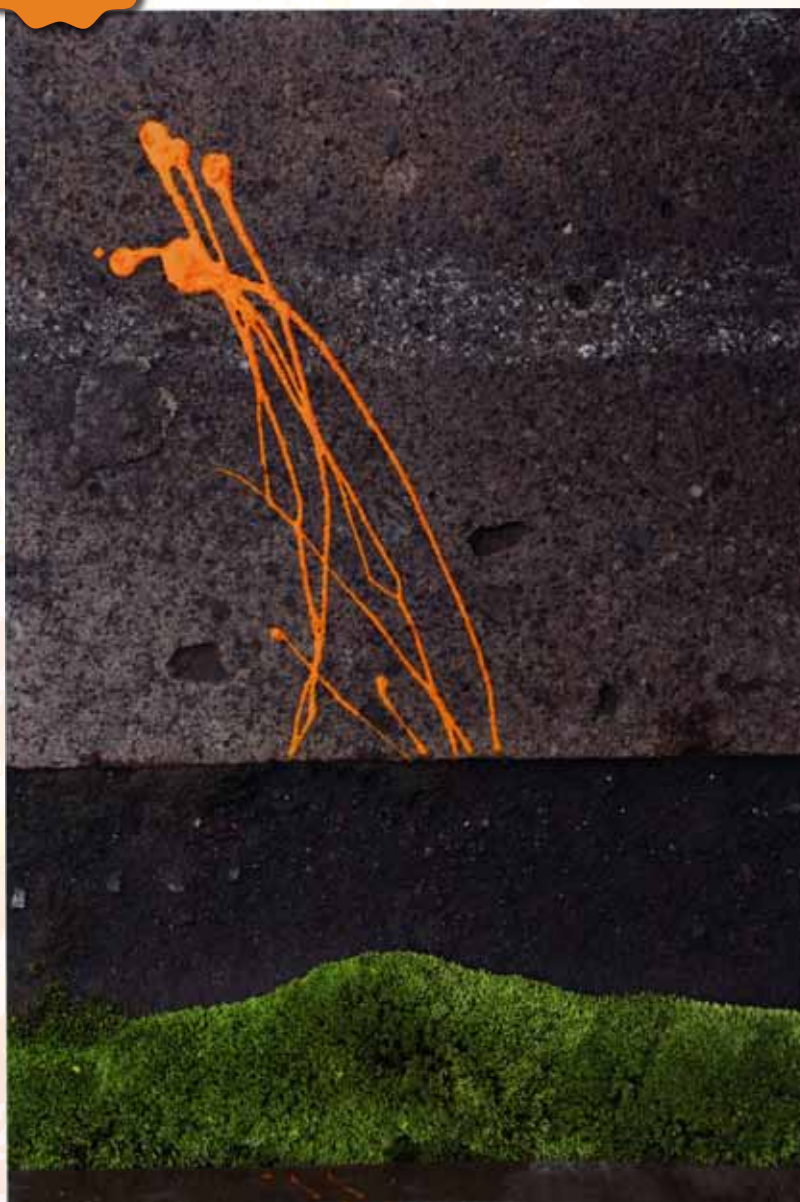
Winter 2014 12-1

第173回

TopEye
賞

「桜島大噴火」宮里 明衣

(沖縄県立浦添工業高等学校 3年)



ガンバレ写真部!

恵みの大地で、個性豊かな写真を追求!

宮城県柴田農林高等学校

視想講座 VOL.273

直感を信じて動いてみる

佐藤 倫子

めざせ傑作!!

わくわくデジタル写真ゼミ 第9回

紙1枚で「ブツ撮り」グレードアップ!

情報ひろば

FRIEND'S EYE

PhotoPhoto OB/OG 訪問

香川県立坂出高等学校 OG 岩本 未来さん

これからも写真で

いろんな人とつながっていききたい!

Nikon News

おめでとう!

第62回ニッコールフォトコンテストに
昨年度TopEye賞受賞者全員入賞!!

Nikon College
ニコンカレッジ

Photo Photo SALON 173rd

2014年度 vol.3

TopEye賞

表紙に大きく載ってるよ!!

「桜島大噴火」 宮里 明衣

沖縄県立浦添工業高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-135mm
●M (1/200秒・f/8)
●ISO800



とても斬新な作品です。ポップで軽快でもあります。デザイン的でもあります。なにより柔軟な発想に敬意を表します。コメントによれば、鹿児島を訪れた際に自分の足元を撮ったとのこと。噴煙を上げる桜島を見た直後、なんでもない路上のコケとペンキ跡が、桜島とその噴煙に見えたといいます。見事な連想と決断です。常々思うことですが、写真表現の大切なことのひとつは、自分の思い、考え、視線といったものを外に向かって「宣言」することです。世界が、社会が、私にはこんなふうに見える。誰がなんと言おうとそうなのだと「宣言」することです。それが見事に行われています。この写真が、一度も見たことのない、それでいて本物の桜島に見えてきました。

第173回 TopEye賞受賞

宮里 明衣さん

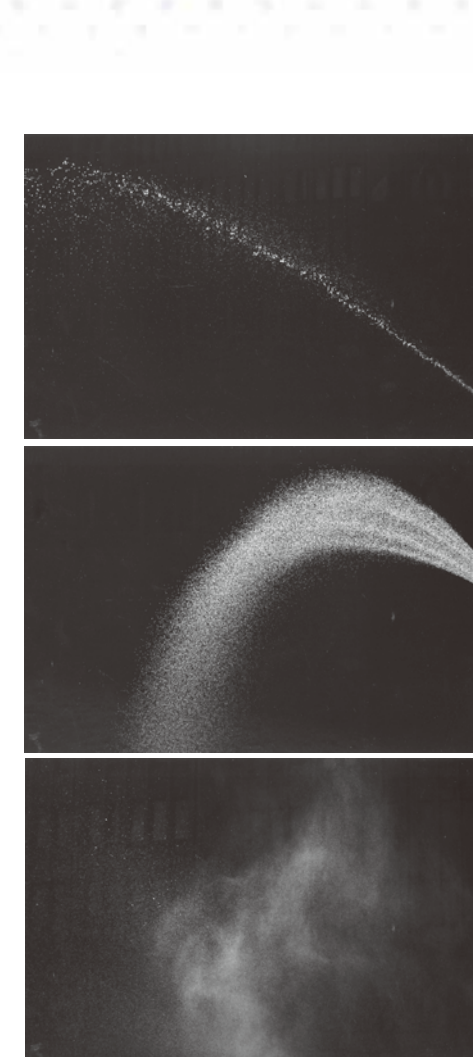
受賞のコトバをどうぞ!!

今回初めてのトップアイ賞をいただきとても光栄に思います。この作品は、高文連九州大会で鹿児島に行ったときに撮った写真です。撮影中に歩道にオレンジのペンキがかかっていて、その下のコケが山の形をして生えていたのを桜島が噴火しているように見立てて撮りました。これからも写真をずっと続けていきたいです。選んでくださってありがとうございました。



審査員 小林紀晴

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポードレスに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。



準TopEye賞

「水の踊り」藤原 まりな

大阪府・帝塚山学院高等学校 1年
●D40X
●35mm (3枚とも)
●Sオート (1/2500秒) (3枚とも)
●ISO100 (3枚とも)

コメントによれば「水の動きが踊っているように」見えたそうです。トップアイ賞とも重なるのですが、ここにもひとつの「宣言」があります。作者には「水が踊るように見える」という「宣言」です。ホースから流れ出る水の流れを撮ったのだと思います。できるだけ踊っているようにするため、光線をよく考えたのでしょう。シャッター速度にも気を使っています。背後が黒く落ちているので、水の流れが浮き立っています。なかでも三枚目が重要です。揺るがない視線に支えられた、音が鳴る組写真です。

自分の足元にさえ、新しい世界はある／小林紀晴

今号のトップアイ賞は宮里明衣さんの「桜島大噴火」という作品です。珍しいタイプの作品です。桜島を目の前にしているながら、自分だけの桜島を足元に見つけています。その柔軟な発想が素晴らしい、トップアイ賞に選びました。世界の広がり、自分だけの小宇宙を見出した証です。

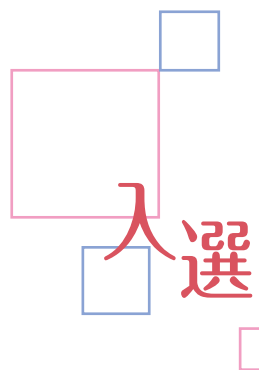
写真にはいろんな要素があります。もちろん現実をそのまま写すこともできます。一方で目の前のものを撮りながら、まったく別のものに変換できます。この「桜島大噴火」が撮られるまで、ペンキもコケもただのそれでした。誰にも桜島にも大噴火にも見えていなかったはず。ペンキを垂らしてしまった人も思いもしなかったことでしょう。でも、この写真が撮られた瞬間からここは確かに桜島と噴煙になったのです。

いまの時代、世界のあらゆるものは写真に撮られ尽くされ、もう撮られていないものはない、などと言われたりもします。でも、こんな写真に出会うと、ハッとさせられます。実は、文字通り「足元」にも、一度も撮られたことのないもの、撮られたことのない世界が広がっていることに気づかされるからです。世界は無限の広がり満ちていると、強く思えてくるのです。どうか、こんなふうにながめていないだけの大きな世界を発見してください。そんな写真を見せてください。楽しみにしています！

入賞作品はニコイメーキングのサイトに掲載！チェックしてみよう！

<http://www.nikon-image.com/activity/topeye/>

最新の応募用紙もダウンロードできるよ！



「希望」渡邊 葵

千葉県立四街道高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●Aオート (f/4.5) ●ISO3200

教室で撮られた一枚です。椅子が机の上に乗っているところを見ると、掃除の後、あるいは放課後でしょうか。いずれにしても傾いた日の光によってすべてがまとめられています。驚くのは、よく光を見ていることです。光を見事に利用し、効果的に使っていることです。足し算ではなく、掛け算になっています。そう思うのは、同時に影を意識しているからです。女子生徒の立ち位置、机の奥行き感も見事です。ただ、タイトルはもう少し考えてみてください。もっと、具体的で等身大の言葉がふさわしい気がします。



「長年のつきあい」牟田 実穂

熊本県・八代白百合学園高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●A オート (f/6.3, f/8, f/6.3)
●ISO400 (3枚とも)

ここは古い銭湯です。そうとうに年季が入っています。それだけに場所が持っている力が圧倒的です。油断するとその力に負けて、写真を撮られるパターンに陥ることも多いのですが、きちんと自分の写真が撮れています。それは視線が定まっているからだと思います。場所と時間の中心にいるのは人です。ここでは番台の主人、そしてお湯の中のお客さんがそれにあたります。主役の二人、それぞれの表情がいいです。どちらも人柄を感じさせます。二枚目の古びた椅子もまた両者をつなぐ、よいアクセントになっています。



「夢を追う姿」前田 莉奈

大阪府立生野高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●55~250mm
●M (1/80秒・f/11)
●ISO200

サッカー部の練習でしょうか。グラウンド整備をしています。その手前にキラキラと光っているもの。よく見ると右側に頭と肩があり、女性の髪の毛だとわかります。コメントによれば「選手たちの練習を見守るマネージャー」とのことです。なかなかこんなふうに見えるものではありません。近くと遠くのもの、両者が見事に引き立っています。もしかしらセットアップして撮ったのかも知れません。それほど構図がしっかりしています。なにより光をしっかりと見ていることで、美しい一枚となりました。

重要なお知らせ!

応募用紙の記入事項が
変わりました!!

◎作者の自宅ではなく、学校の住所をご記入ください。
◎「写真部」以外の部の場合、部の名称もご記入ください。
◎顧問の先生のお名前をご記入ください。

同封orWEB上の
応募用紙を確認してね!

応募作品の
サイズも
ご注意!

(10ページも見てね)

賞品

TOUPEY賞

入選

ニコンデジタル一眼レフカメラ
D3300レンズキット

賞状



準TOPEYE賞

ニコンデジタル
コンパクトカメラ

賞状



ニコンオリジナル
カメラバッグ、
賞状

佳作

ニコンオリジナル
ポーチ、賞状

准佳作

賞状

さ・ら・に

毎回応募で

狙え！年度賞

6月号 10月号 12月号 2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出！

受賞ポイント

TopEye賞 100ポイント
準TopEye賞 70ポイント
入選 50ポイント
佳作 30ポイント
准佳作 10ポイント
皆勤校ポイント 20ポイント

最優秀賞 合計ポイント1位の学校
優秀賞 合計ポイント2位の学校
敢闘賞 合計ポイント3位の学校

受賞校に
ニコンデジタルカメラ、
エプソンプリンター、
賞状、箱をプレゼント！

大舞台も待っている！

毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニコールフォトコンテストU-31（Under31）部門」にノミネート！キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ！

佳作

「勝利への糧」岡崎 慎也

香川県立坂出商業高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●75-300mm
●P オート (4 枚とも) ●ISO3200 (4 枚とも)

通っている学校のグラウンドとのことです。野球部の練習風景です。スポーツを撮っているが、静的で音がしないところがとても新鮮でした。それは夜に絞って撮っていることとも深く関係しているのでしょう。練習ではなく、修行という言葉が自然と浮かんできました。残念なのは一枚目と二枚目の写真が似ていることです。こんな写真が続くと、緊張がなくなります。一枚目を削り、残りの三枚でも十分に成立します。時に欲張らないことも大切です。

「女」菊池 桃歌

埼玉栄高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-200mm、50mm、60mm
●Aオート (f/10、f/1.8、f/2.8)
●ISO800、6400、800

16歳の女性の作者が、思い、感じ、考えている「女」を表現した作品です。つまりこれは自分自身の姿であり、自分以外の女性の姿なのでしょう。けっして「美しい」という言葉だけでは収まらない、それ以外のものも多分に持っている女性という性に対峙しています。残念なのは三枚目のテストが、ほかとは大きく違う点です。どうしても緊張感が途切れてしまいます。組写真は全体のバランス、見せ方がとても大切です。

「ちっちゃいもののクラブ」木下 葉月

福井県立丹生高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●Aオート (f/8) ●ISO100

とても斬新で楽しい試みです。ありそうでなかった写真とも言えるかもしれません。一度撮影した人物の写真を実際に切り抜いて、それを野外に並べて、もう一度撮影しています。背景の校舎らしき建物と人物が違和感なくなじんでいます。写真はそもそも被写体の複写にほかなりませんが、ここではそれが二回行われています。すると実像のなかに虚像が入り込んだような奇妙な感覚に陥ります。それが、心地よいです。

縦位置の組写真です。コメントには「どこかに飛び出してしまいそうな衝動」を写真で表現したそうです。写真はどれも陰鬱な印象です。二枚目の木々が風になびくさまは、作者の心のうちをそのまま見ているような錯覚を覚えます。三枚目の猫は、作者自身の姿に見えてきます。内面を写真に投影することは簡単なことでありません。でも、果敢に挑戦しています。

「ざわめく」
福富 晶

大阪府立成城高等学校 2年
●D3200
●AF-S DX18-55mm
●M (1/200秒・f/3.8、1/3秒・f/5.6、1/80秒・f/4.5)
●ISO100、100、400

準佳作

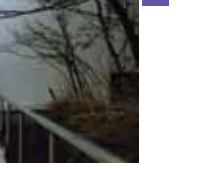
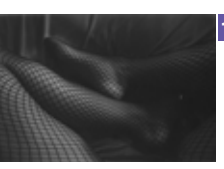
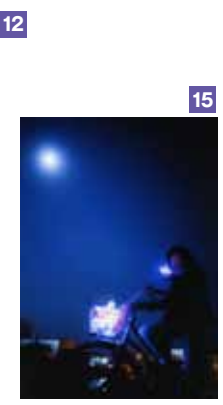
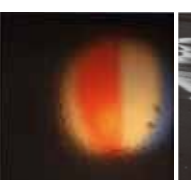
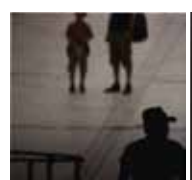
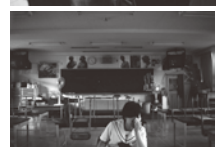
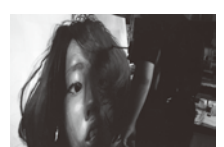
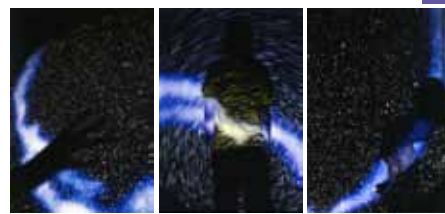
アドバイス

「祖父と孫」北松 伸一
宮城県柴田農林高等学校 2年
祖父の写真と自撮りした写真。表情がどちらもいいです。同じポーズだからこそ、祖父と孫という血縁から発見する要素がたくさんあり、見ていて飽きません。できれば、同じ背景で撮った方がより効果的な絵になったと思います。さらにタイトルですが、例えば「祖父とぼく」の方がわかりやすく、より思いが伝わるとと思います。

アドバイス

「職人」山岸 理人
新潟県・中越高等学校 2年

放課後、教室にたたく野球部の部員でしょうか。手にはグローブも効果的で、その場の雰囲気が見事にとらえられています。ただ、ポーズが中途半端です。例えば右手にボールを持っているとか、ボールをグローブに向けて投げているなど、そんなワンポイントがあると視線が定まり、全体が締まります。



- 1「チェシャネコ」大木 隆司 大阪府立箕面東高等学校 3年
- 2「歓喜」高井 翼 新潟県立巻高等学校 2年
- 3「空へ」倉橋 沙希 新潟県・中越高等学校 2年
- 4「孤独」知念 拓斗 沖縄県立浦添工業高等学校 2年
- 5「閃き」日暮 匠 千葉県立松戸高等学校 1年
- 6「キセキノユクエ」小原 京華 福井県立丹生高等学校 1年
- 7「美術美」柏木 麻南 和歌山県立神島高等学校 2年
- 8「ご挨拶」河野 結衣 香川県立坂出商業高等学校 1年

- 9「考える犬」野保奈菜子 香川県立坂出高等学校 1年
- 10「食欲」栗田 瑞穂 大阪府立東百舌鳥高等学校 1年
- 11「CATCH!」田村 珠希 大阪府立生野高等学校 2年
- 12「あの夏の記憶」寒河江 建 埼玉栄高等学校 1年
- 13「嘘」阿部 夢加 大阪府立成城高等学校 3年
- 14「escape」山邊 紗耶 東京都立小石川中等教育学校 4年
- 15「星泥棒」近藤 冴夏 山口県立下松高等学校 3年

Photo Photo SALON 2014年度 中間発表!!

- ★1位 山口県立下松高等学校／和歌山県立神島高等学校 180 ポイント
- 3位 熊本県・八代白百合学園高等学校 160 ポイント
- 4位 大阪府立成城高等学校 150 ポイント
- 5位 沖縄県立浦添工業高等学校 120 ポイント

- 6位 大阪府立生野高等学校／香川県立坂出高等学校 100 ポイント
- 8位 千葉県立四街道高等学校／愛知県立津島東高等学校／香川県立坂出商業高等学校 80 ポイント

- ▶11位 (70 ポイント) 大阪府・帝塚山学院高等学校 ▶12位 (60 ポイント) 島根県立松江南高等学校／新潟県・中越高等学校 ▶14位 (50 ポイント) 宮城県立白石高等学校／新潟県立六日町高等学校／福井県立丹生高等学校／埼玉栄高等学校 ▶18位 (40 ポイント) 大阪府立東百舌鳥高等学校 ▶19位 (30 ポイント) 新潟県立十日町総合高等学校／東京都・正則高等学校／静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校／沖縄県立那覇工業高等学校 ▶23位 (20 ポイント) 宮城県白石工業高等学校／宮城県柴田農林高等学校／東京都立小石川中等教育学校 ▶26位 (10 ポイント) 新潟県立巻高等学校／千葉県立松戸高等学校／愛知県立豊田東高等学校／岐阜県立大垣工業高等学校／大阪府立箕面東高等学校／愛媛県立松山工業高等学校／鹿児島県立伊集院高等学校

次回、いよいよ年度賞決定!!

次回の締切は

1月10日(土)

当日消印有効です!!

詳しくは同封の応募用紙を見てね!

ガンバレ写真部!!

久しぶりに東北へ行ってきました。第2回TopEye高校生写真サミットで「優秀賞」に輝いた宮城県柴田農林高等学校! 蔵王連峰を遥かに望み、付近の河原にはスケールの大きな桜並木など、自然の風物豊かな環境。そんな中、農林高校ならではの特色あるキャンパスで、イキイキ写真に取り組む姿がありました!

宮城県柴田農林高等学校



いろんな野菜を栽培中の温室で CHEESE !

赴任1年目!
印象的なキャラで部を見守る顧問の中本先生

後列左から:関さん、鈴木さん、大浦さん、顧問の中本先生。
前列左から:菅野くん、武田くん、北松くん。

校内で、
いろんな野菜を
栽培中!!

恵みの大地で、
個性豊かな
写真を追求!

なかなかないよ、こんな撮影環境!

門をくぐれば、広〜い敷地に畑あり、牛小屋あり、庭園あり、温室あり、トラクターあり。皆、写真部員を含めた高校生たちが手がけているもの。もちろん空もでかい草木もののびのび。いやこれは、撮影的にかなり恵まれた環境なのでは!? こんな場所で部員さんが、夏の青葉や紅葉の色合いなんかについて語ると説得力アリアリです。取材当日はあいにくのお天気で、あまりウロウロできませんでしたが、ハウスの中で野菜に囲まれ、雨音を聞きつつパシャパシャ...というの、なかなかフレッシュな体験でありました。

温室

トラクター



実はウエイト
リフティング部の練習場。
何が「魔法」かは謎。



4月の
「大河原桜まつり」では、
行楽客相手に
「移動写真館」を開催!



夏の東京合宿では、
スカイツリーと都
写真美術館に!

部員: 8名(3年2名、2年4名、1年2名)
活動: 平日の放課後。校内外での撮影や作品づくりなど。土日も撮影に行ったりしてます!
機材: デジタル一眼レフカメラ5台、プリンタ5台。部室、暗室あり。
部費: 生徒会の年間予算26万円。部員からは月500円。主にインク等の消耗品や、東京合宿の費用補助などに支出。



過去の作品と表彰状が
ズラリ並んだ部室!

ネットにつながらない
旧式PCだけど、
元気です!



最近の実績

- ◎第2回TopEye高校生写真サミット
優秀賞、佐藤倫子賞、横浜市長賞
- ◎全国高総文祭出場
- ◎写真甲子園出場
- その他、県写真展や地区展で活躍中!

今年の宮城県高校生写真展でも
鈴木さん、関さんの合同作品が
銀賞受賞! おめでとう!!



少人数だけど、個性それぞれ!

取材日は2名が都合で参加できず、6名+顧問の先生というコンパクトな感じで活動。雨降りのせいか、ややおとなしめのスタートでしたが、リラックスしてくると自らモデルを買って出たり、濡れた地面に這いつくばる勢いでカメラを構えたり。「普段はこんなモンじゃない。今日休みの相棒と一緒に、止まなくなるヤツもいます」との部長のコメントに、「いやいや部長のボケと副部長のツッコミで部が回ってます!」という声も。そのかわりで、自分だけの構図、自分だけの瞬間を狙う静かな眼差しも。楽しんでる&追求してる感じ、いいですね〜。

関さん撮影



友達をモデルに
演出写真を追求!



動物科学科
マウスなどの小動物を研究

副部長(ツッコミ担当)
関さん

思いつき
楽しも〜!!

車をカッコよく撮る方法を
模索中! 夕日も好きです



副部長(次年度部長)
武田くん



武田くん撮影

食農科学科
身近な野菜を
いろいろ栽培

第2回TopEye高校生写真サミット
佐藤倫子賞

動物科学科
牛の世話が日課のつ



虫の撮影に
こだわりあり!

北松くん撮影



モニタにも
映ってます!

武田くんの劣作、
怪獣カメラマスク!
(中の人担当: 北松くん)



レンズ着脱式、フラッシュも
立ち上がるスゴいギミック。

第2回TopEye高校生写真サミット
横浜市長賞



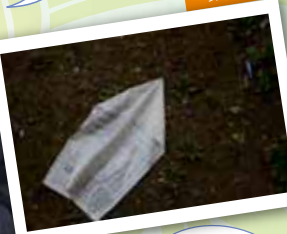
菅野くん撮影

構図がバッチリ
決まると嬉しいですね!



狙った効果が作品に
出た時の感激が
たまりません!

鈴木さん撮影



食農科学科
白ナス栽培担当

部長(ボケ担当)
鈴木さん

大浦さん撮影



園芸工芸科
シクラメン栽培中

一人ひとりが、実績を受け継ぐ!

第2回TopEye高校生写真サミットの他にも、全国大会や県展などへの出場・出品歴豊か。その実績を引き継ぐために、部長さんはどんな指導を? 「指導というよりアドバイスですね。それぞれに撮りたいものはあるので、「だったらこんな風に撮るのは?」と提案する感じ」さらに副部長さんは「その後、一緒に撮って見て結果を確かめたり」と、きめ細かい対応! 少人数ならではの強みかも知れません。聞けば、大会などで知り合った他校との交流も大切にしているとか。これからも広く深く、写真力を磨いていってくださいね!



3年後の全国総文祭開催へ向けて

宮城県高等学校文化連盟写真専門部長 澤田可知

宮城県の主な活動として、6月に新入部員対象に実施する『写真技術講習会』、8月には『写真部夏季写真撮影大会』、11月に次年度の全国高等学校総合文化祭出場を懸けた『宮城県高校写真展』が挙げられます。特に『夏季写真撮影大会』は震災後から毎年ニコンイメージングジャパン様のご協力をいただき、今年で3回目。今年度も県内の22校、約100名の生徒が2名の講師の先生と写真漬けの2泊3日を過ごしました。平成29年には宮城県で全国総文祭が実施されます。大会を盛り上げるためにも県全体でレベルアップに努めています。



「ガンバレ写真部」に 登場しませんか?

このコーナーに出てくれる
学校を大募集!!!
編集部が学校に行って取材します。

応募先は裏表紙をみてね!

わくわく
デジタル写真ゼミ

ケーキマニアのレン子ちゃんとは…

一時限目

「簡単レフ板」で、おいしそー!



明るい窓辺にテーブル置いて撮ったのに…
ケーキが暗くなって、ぶっちゃけマズそう?!

【撮影データ】
●使用レンズ：24-120mm ●A オート(絞り優先オート)f/8・1/30 秒
●ISO400 ●ホワイトバランス：オート

対策 紙を折って、立てるだけ!!

A4のコピー用紙1枚を二つ折りにして、ケーキの手前に立てる!これだけで、光を反射させる撮影道具「レフ板」の代わりになるのだ。あとは露出補正で好みの明るさに…



📷 再チャレンジ



【撮影データ】
●使用レンズ：24-120mm ●A オート(絞り優先オート)f/8・1/15 秒 ●露出補正：+1.0EV
●ISO400 ●ホワイトバランス：晴天

パティシエカメラマン(一々にそれ)を目指すあたしとしては、ケーキの写真も撮れるようになってほしい!でも、いまいおおいしように撮れませーん!どうしたらいいですか?



外光を利用したのはいいアイデア!でも、逆光対策は必要だ。そんな時便利なのが、なんとA4のコピー用紙1枚!

やたっ!!このケーキの
おいしそうな赤がしっかり
出せたわ。
実はホワイトバランスに
もこだわってみました♡



窓からの光は、天候や時間帯によって「色かぶり」*することがある。ケーキの色を忠実に出すために、ホワイトバランスを変更したのはナイス!より鮮やかにするなら、ピクチャーコントロールの「ビビッド」なども試してみよう。

*光源などの影響で余計な色が写ること。

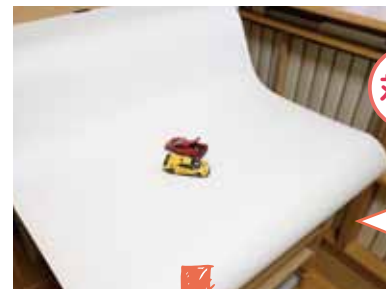
紙1枚で「ブツ撮り」
グレードアップ!

二時限目

クルマ大好きなシャツ太くんとは…

「簡単スタジオ」で撮写!

ボクは、愛蔵品のミニカーを撮ろうと。でもなんか模型っぽさが抜けないっす。ボクの中ではこいつらすでに、ハイウェイをバンバン飛ばしてるんですけど…



対策 模造紙1枚で世界を変えろ!!

文化祭などで使う模造紙を、床と背景が隠れるように置く。角は折らずにゆる〜く曲げてね。椅子や部屋の壁をうまく使おう!後はアングルを運転席に合わせて…

📷 再チャレンジ



その他のポイント

意外と小さい工夫で、プロっぽいブツ撮りができちゃうもの。その他のコツをいくつか伝授しよう。

- ◎手ブレを防ぐため、三脚があればぜひ使おう。
- ◎三脚を使う時は、「手ブレ防止」機能をOFFに。
- ◎マイクロレンズ(近接撮影ができるレンズ)があると、グッと寄って撮影できるよ!
- ◎ライブビュー機能ができれば、ピント確認に活用しよう!

オホン!



ブツ撮りってなに?漢字で書くと「物撮り」つまり人物や動物や建築ではなく、「モノ」を撮影すること。みんな、カメラ以外にも好きなモノってあるよね。それを被写体にするのも、個性的な写真への第一歩だ。ちょっとした工夫で、身の回りのものが美しく&カッコよく変身!



【撮影データ】
●使用レンズ：24-120mm
●A オート(絞り優先オート)f/16・1/15 秒
●ISO800 ●ホワイトバランス：オート

うーむ。確かにミニカーにしか見えない?!

思うに、シャツ太くんのカメラアングルが高すぎるし、机の木目がいかにも「室内」っぽいのが原因だね!

おおっ。シンプルな背景に、クルマの色とフォルムが映えるう!血が騒ぐなあ。



アングルをクルマに合わせて本物っぽさが増すでしょ。背景をシンプルにするのも、被写体を強調する基本だよ。

【撮影データ】
●使用レンズ：24-120mm
●A オート(絞り優先オート)f/16・1/5 秒
●露出補正：+0.7EV
●ISO800 ●ホワイトバランス：オート

さて、早いもので次回は学年末!シリーズ区切りで、これまでのまとめをやろう。楽しみに!



視想講座

vol.273 佐藤 倫子
直感を信じて動いてみる



視点や興味が、人とズレた所がずっとありましたね。友達はいたけど、興味があることについて話が合う子はいなかったかな。プロの写真というものを知ったのは高2の頃。当時の最先端の写真をたくさん登録していたストックフォトライブラリーでアルバイトしたのがきっかけです。進路を考える時期、思いつく職業を紙に書き、消去法で残ったのがフォトグラファー。「これならなれる!」と直感で決めてしまいました(笑)。

大学でも少し浮いていたかも知れません。学部の中で、ハイヒール履いた女子大生ファッションは本当にいませんでしたから。教授も私はカメラマンよりOLに向いていると思ってみたい。でも卒業制作が認められ、化粧品メーカーの写真部門に入社。厳しい世界でしたが人を丁寧に育てる会社で、休日であれば会社のスタジオで作品づくりをさせてくれました。独立後に仕事を広げる時、それらの作品が役立ちました。

こうして写真を仕事にしたけれど、そこから壁にぶつかりましたね。デジタルカメラが普及し、誰もが写真を撮れるようになった時代。今後の方向性を見失い、一時期ほとんど活

動しませんでした。代わりに旅行や芝居に行ったり、音楽を聴いたり。

そんな頃京都で出逢ったのが、作庭家の重森三玲さんによる日本庭園。同じ頃、偶然外でとても美しい光のグラデーションを見て、自然にはこんな光があるのだと改めて実感しまして。それまでは主にスタジオで色々格闘していましたが、それ以降は外へ出て作品撮影することが多くなりました。

再スタートの時、「写真家」になると決めました。「フォトグラファー」の頃は撮った写真が全てでしたが、今は作品を解説し、文章を書き、イベントやセミナー等で撮影を実演する。行動全体が「私」の表現です。

写真に行き詰まったなら、他のことに興味を持つのもいいでしょう。絵や映画、音楽など、五感を刺激するものもいいかな。それらの経験は必ずその後へつながり、全てが糧になります。心から「カッコいい」「素敵」と思う、その直感を大事にしましょう。

最近、IPA*という国際コンクールで賞をいただきましたが、凄い作品揃いです。写真を、そして美を追求する人々が世界にはこれ程いるんだと驚きます。ぜひ見てみてください。

佐藤 倫子

Profile

(さとう・みちこ) 東京都出身。東京工芸大学短期大学部 写真技術科卒業。株式会社資生堂 宣伝部入社。退社後フリーランスに。写真家として都内中心に個展・グループ展を開催。企画からイベント、講座やセミナーなどへも活動。主に化粧品などの広告写真を撮り続けてきたことが基本となり、作品にも「美」のある写真をつくり続けている。また内面からの美しさも追求しており、太極拳のインストラクターの資格も取得。写真集に「HOPSCOTCHINGS」桜花出版 (Amazonにて購入可能)。2014年、International Photography Award (IPA) において3部門受賞。公益社団法人日本広告写真家協会 (APA) 正会員。ホームページ: www.rin-photo.com



情報ひろば

FRIEND'S EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問!



学業のかたわら、コーヒESHOPでアルバイト!

これからも写真でいろんな人とながっていききたい!

SENPai file.12

岡山大学文学部 3年

岩本 未来さん

第152回フォトサロンTopEye賞受賞
香川県立坂出高等学校写真部OG

瀬戸内の小さな島で、豊かな自然と優しい人々に囲まれ育った岩本さん。持ち前の好きな性格が写真活動にビタリとハマリ、のめり込んだ3年間。大学生になっても、学業やバイトの合間に作品を発表しています!

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。

高校時代の活動の様子を聞かせてください!

今の暮らしや活動のことを教えてください!

受験生の頃、写真部のWEBサイトで顧問の先生の熱いメッセージを見て、入学もしていないのに「写真部に入ろう!」と決意。入部期間前に部室を訪ねて先輩たちをたじろがせました(笑)。その後、一眼レフを持ってがむしゃらに撮る毎日が始まりました。元々人と接することが好きなのですが、ある時被写体になってくれた人が「私ってこんな顔するんや!」と喜んでくれたのが忘れられず、撮った写真をプレゼントするのが楽しみになりました。自分の家がある島も、写真を始めてから改めて好きになりましたね。仲間と撮り合うのも、大会で友達が増えるのも本当に楽しくて、いまでも「戻れるなら戻りたい!」と思っています。

TopEye賞受賞の思い出をお願いします!

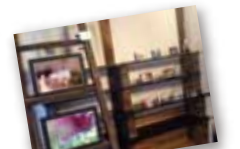
自分の写真が賞の形で認められ、誌面やWEBで知らない人たちにも観てもらえて、とても自信になりました。「自分のカメラ」が手に入ったのも嬉しかった!それまでは部のカメラを少しビクビクしながら使っていましたが(笑)、副賞でいただいたD3000は自分のストラップをつけていつも持ち歩き、ふとした瞬間をすぐ写真に収めるようになりました。私の写真人生はここから始まったと言えるかもしれません。

では、後輩たちにメッセージを!

写真は、自分の気持ちを見つめ直したり、知らない人とながるなど、一歩踏み出すきっかけをくれるもの。それに高校生って、カメラを持って近づいてもみんなすんなり受け入れてくれるので、大人には撮れない写真が撮れるんです。うまい、ヘタを気にするより、この瞬間を楽しく残していってください。ぜひ続けてくださいね。



バイト先でも写真を撮って盛り上げてます!



大学の友達と写真+絵の二人展を開催!

TopEye出張デジタル写真ゼミ

絶賛出張中!

10/18 静岡県沼津市

静岡県東部高等学校写真連盟 第2回写真教室

会場: 沼津市民文化センター
講師: 斉藤勝則先生

元気な写真部が多い静岡県で、うらかな秋の午後に開かれた写真ゼミ。参加者は10校・106名参加の大大所帯!短い時間でしたが、みんなでワイワイ撮影するのもやっぱり楽しい!



参加校募集

あなたの街にも出張します!!

お申し込み・お問い合わせ E-mail: topeye@niken.com

要・再チェック! PhotoPhoto SALON 応募作品のサイズ・組み方について

いつもご応募ありがとうございます! でも時々「規定のサイズ・組み方」を守っていない作品も見られます。送る前に、再確認よろしくね!

サイズ

キャビネ または 2L

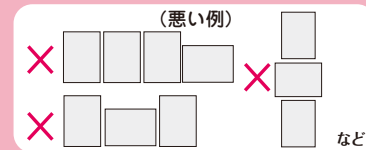
四つ切 または A4 サイズ

組み方

★組写真は4枚までOK。つなげて送ってね!
★ヨコ位置、タテ位置を混在させないで!

これより小さいor大きい作品は審査できません!

詳しくは、最新の応募用紙を見てね!



高文連 大会&講習会レポート

北海道高文連

第38回 全道高等学校写真展・研究大会

会場: 札幌コンベンションセンター
講師: 浅野久男先生

北海道全域から108校、436名の写真部員が集ったマンモス大会!浅野先生の指導による撮影会を、D7000などの一眼レフカメラでサポート。北海道勢のフォトサロン参加も、待ってます!



全国高文連×JPS

平成26年度 全国高等学校 文化連盟写真専門部 顧問技能講習会

会場: 大阪市 あべのハルカス

顧問の先生の写真技能アップも、部の実力アップのカギ!ということで、高文連と公益社団法人日本写真家協会 (JPS) が毎年開催している顧問の先生向けの講習会!今年は大阪地区の先生方20名が集結して、カメラの操作から撮り方、プリントの仕方まで、みっちり学びました!



2013
年度

TopEye賞受賞者全員入賞!!

由緒あるニッコールフォトコンテストの“若者限定”
「U-31」部門に、昨年度TopEye賞の4作品すべてが入賞。
おめでとう!今後の活躍も楽しみです!!

審査員・小林紀晴先生から

現実目に向け、他者に対峙した作品は、人に訴える力
を持ちます。「U-31」部門の受賞作にも、そうした挑戦
が多く見られました。心象風景を描くのも大切ですが、
「自分」というワキはやはりある。外の広い世界に向き
合う作品が、もっと出てくることを期待しています。



年明けに、入賞作品展を開催!!
見に来てね!

1/5 ~ 1/19
ニコンサロン bis 新宿

2/12 ~ 2/25
ニコンサロン bis 大阪

★「U-31」部門はTopEye賞からの
ノミネートのほか、直接応募も大歓迎!
来年度はキミも挑戦してみない!?

特選



「これからも」 桑田有理さん(八代白百合学園高等学校 / 第167回TopEye賞)

準特選



「あの日から」 塩沢紘佳さん(飯田女子高等学校 / 第169回TopEye賞)

入選



「教室の花子さん」
佐藤優妃さん
(新潟県立六日町高等学校 / 第168回TopEye賞)

入選



「祈り」
鬼塚花凛さん
(八代白百合学園高等学校 / 第170回TopEye賞)

2月、
横浜で
会おう!

TopEye全国高校生 写真サミット2015

2015年2月6日(金)~2月8日(日)

写真の技を語り、
交流を深める3日間!

フォトサロン
上位15校が集結!

有名写真家の講演会など、
一般公開のプログラムも。

講師

小林紀晴 先生
斉藤勝則 先生
大橋 愛 先生
佐藤倫子 先生
ハービー山口 先生

主催: (株) ニコンイメージングジャパン
後援: 横浜市、高等学校文化連盟全国写真専門部
協力: エプソン販売 (株)

ぜひ、見に来てね!!

新しくなった!
TopEye
WEBサイト



トップアートのWEBサイトがこの12月に
リニューアル! フォトフォトサロンの受
賞作や、バックナンバーも見られるよ。
ぜひぜひ見てくださいね!!

www.nikon-image.com/
activity/topeye/

「TopEye 全国高校生写真サミット」の
facebook ページもオープン!!
www.facebook.com/
nikon.topeye.summit

CHECK!

「Nikon Df」発売1周年記念
限定モデル

ブラック
Gold Edition



数量限定1600台

ボディのみ 600台 レンズキット1,000台

大好評「Df」ブラックボディに金色を
あしらった超限定版!

限定数に達した時点で販売を終了させていただきます。

12月24日
発売予定
※初回はご容赦ください

皆さんの
投稿歓迎!!

投稿の際には
忘れずに書いてね!

「ガンバリ写真部」の
応募もヨロシク!!

- ① 学校名・クラブ名
- ② あなたの住所
- ③ 氏名 ④ 電話番号
- ⑤ 使用可能なメールアドレス

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 201
宛 (株) アドバタイズ TopEye 編集部宛
先 E-mail: topeye@nikon.com FAX (03) 5148-0566
※フォトフォトサロン応募の宛先とは異なります。ご注意ください。

次号の
「TopEye」(No.280)は
2月20日発行予定です。
何とぞご了承ください。

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/activity/salon/>

トップアートの写真も展示!
小林紀晴先生の写真展も開催!

銀座ニコンサロン

(03) 5537-1469
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 石川竜一「絶景のポリフォニー」 12/3 ~ 12/16
- 松本コウ「午前零時のスケッチ ONE OF THESE MIDNIGHT SKETCHES」 12/17 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 市川恵美「日の木(にちにのき)」 1/5 ~ 1/13
- 守田衣利「Close Your Eyes, Make A Wish」 1/14 ~ 1/27
- Russel Scott Peagler
(ラッセル・スコット・ピーグラー)「From India」 1/28 ~ 2/10
(会期中2/7・8休館)
- 本橋成一「炭鉱(ヤマ)」 2/11 ~ 2/24

新宿ニコンサロン

(03) 3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 蕭 又滋「列車プロジェクト-台湾」 12/16 ~ 12/22
- 斎藤利江
「鮮やかなモノクローム 一昭和30年代の暮らし」 12/23 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 第62回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第2部カラー 第3部ネイチャー 1/5 ~ 1/19
- 望月 茂「野に在る神仏像」 1/20 ~ 1/26
- Juna21 瀬田順平「コミュニケーション」 1/27 ~ 2/2
- 第14回 フォトシティさがみはら2014 プロの部入賞
作品展 2/3 ~ 2/16
(会期中2/11・12休館)

ニコンサロンbis新宿

(03) 3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 八木隆太「鼓動」 12/16 ~ 12/22
- ニッコールクラブ新宿自然支部「樹と樹のある風景」 12/23 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 第62回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第1部モノクローム 第4部U-31 1/5 ~ 1/19
- 全国高等学校文化連盟「日韓高校生写真交流の
集い」日韓中 高校生フォトコン 写真展 1/20 ~ 1/26
- Juna21 京嶋良太「URASHIMA」 1/27 ~ 2/2
- 第14回 フォトシティさがみはら2014 プロの部
入賞作品展 2/3 ~ 2/16
(会期中2/11・12休館)

大阪ニコンサロン

(06) 6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 野村恵子「赤い水」 12/11 ~ 12/17
- 石川直樹「国東半島」 12/18 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 第39回伊奈信男賞受賞作品展 金村 修
「Ansel Adams Stardust (You are not alone)」 1/5 ~ 1/14
- 三木淳賞奨励賞受賞作品展 池上 諭「目の前の山」 1/15 ~ 1/21
- 小林紀晴「ring wandering 悲しき迷走」 1/22 ~ 1/28
- 大阪芸術大学写真学科 平成26年度卒業制作選抜展 1/29 ~ 2/4
- 石川竜一「絶景のポリフォニー」 2/5 ~ 2/11
- 第62回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第2部カラー 第3部ネイチャー 2/12 ~ 2/25
(会期中2/21・22休館)

ニコンサロンbis大阪

(06) 6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 森脇 亨「ときしる」 12/11 ~ 12/17
- 倉田 昭「彩の国の「舞鶴」」 12/18 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 第16回三木淳賞受賞作品展 林 典子「キルギスの
誘拐結婚」 1/5 ~ 1/14
- 三木淳賞奨励賞受賞作品展 山野雄樹「降灰の島」 1/15 ~ 1/21
- 関西スポーツ紙写真部長会
「関西スポーツ紙カメラマン写真展」 1/22 ~ 1/28
- 日本写真映像専門学校卒業制作選抜展 1/29 ~ 2/4
- 桑原弘子「標高1000mの出会い」 2/5 ~ 2/11
- 第62回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第1部モノクローム 第4部U-31 2/12 ~ 2/25
(会期中2/21・22休館)

ニコンプラザ仙台 フォトギャラリー

(03) 3769-7951 日・祝休館
9:30~18:00(最終日は15:00)

- 小野寺亨「自然の輝き ~ 伊豆・栗駒山・他 ~」 12/10 ~ 12/29
(12/30~1/4年末年始休館)
- 村上昭浩「町内夏祭り」の記録 1/5 ~ 1/20
- 望月 研「monologue モノローグ」 1/21 ~ 2/3
- 小林智之「四季物語 ~心に響く自然風景を
もとめて」 2/4 ~ 2/17

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね!
ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。

URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真家応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

TEL: 03-3769-7960 (1月23日(金)17時45分まで。移転に伴い、
1月26日(月)から03-6718-3020になります。)